



施設名 立花山登山口

物件概要

施工場所：福岡県糟屋郡新宮町
 施工年月：平成 28 年 3 月
 発注者：福岡県 新宮町役場
 施設概要：登山口の公衆トイレ
 工事名：立花山登山口トイレ建築工事

施設紹介

標高 367m の立花山は玄海の海上からも望みされ、昔から海陸の目印になってきました。山頂付近には、樹齢 300 年を超えるクスノキが自生しており、国の特別天然記念物に指定されています。山頂からの眺望が素晴らしい立花山は、手軽なハイキングコースとしてたくさんの人に親しまれており、本工事で設置したトイレはその登山口に建設されました。

仕様

システム：ソフィール
 建物用途：公衆便所、2穴
 人 槽：32 人槽
 汚水量：1.8 m³/日
 処理水：循環利用
 1次側電源：商用 AC100V



トイレ建屋、ソフィール全景

採用のポイント

本計画の公衆便所は、玄海灘国定公園に位置し、処理水の放流を極力行わない方針で設計が検討されました。比較検討の結果、大臣認定を取得したソフィールの信頼性が評価され、採用されました。トイレの計画地は果樹園跡地の傾斜地で敷地が狭く、システムの配置計画が困難でしたが、設計、施工上の工夫によりシステムをコンパクトに設置することができました。

実績写真



一次処理槽、消毒・貯留槽（左）、土壌浸潤槽（右）



システム説明図